

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医療情報システムの相互運用性確保のための対向試験ツール開発事業		担当部局	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度～		担当課室	研究開発振興課 医療技術情報推進室		室長：福原康之		
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-7 医療を始めとする社会保障分野の情報化を推進するとともに、社会保障・税に関わる番号制度の実現に向けた検討に参画する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成19年3月：医療・健康・介護・福祉分野の情報化ブランドデザイン 平成20年8月：重点計画2008 平成21年4月：デジタル新時代に向けた新たな戦略～三カ年緊急プラン～ 平成21年7月：i-japan戦略2015 平成22年5月：新たな情報通信技術戦略				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	各種情報システムの相互運用性確保を行うことで、医療機関のマルチベンダにおける費用負担の軽減に資するものであり、そのための対向試験ツールの開発を行うものである。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医療機関内で使用される各部門系システムについての標準化を進めるため、異なるベンダ(メーカー等)間のシステムを対向試験ツールを使用し、実際に相互に接続して相手のシステムと支障なく情報のやりとりを可能にするための試験を行い、その結果を広く公表するものである。これにより、どのシステム同士が接続可能か把握することができ、その結果でコンポーネント化(部品化)された接続可能なシステムを医療機関が選択して導入することができる。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位：百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	141	132	108	89	89	
	執行額	122	112	105				
	執行率(%)	86.5%	84.8%	97.2%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	システムツールの開発中であるため定量的評価が困難。		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	システムツールの開発中であるため定量的評価が困難。		活動実績 (当初見込み)					( ) ( )
単位当たりコスト	-		算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	研究開発費	89	89					
	計	89	89					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	予算要求の方法について改善していく点がある場合には、的確に予算に反映してまいりたい。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状 通り	本事業については平成23年度においても予算の縮減が図られており、事業の必要性、執行の観点からの評価としては、概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行状況・成果実績等を踏まえ、より効率的に事業を実施してまいりたい。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

厚生労働省  
105百万円

【医療機関内で使用される各部門系システムにつ  
いての標準化を進めるための補助】



【企画競争】

A. 一般社団法人 日本IHE協会  
105百万円

〔医療情報システムの相互運用を確保する  
ための接続試験用ツールの開発を実施。〕



【委託】

B. 民間会社(3)  
78百万円  
...(株)グローバルラボ 65百万円

(システム開発)

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.一般社団法人 日本IHE協会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	人件費等 (株)グローバルラボ、SBS情報システム(株)、(株)管理工学研究所	78			
旅費	委員等旅費	9			
役務費	翻訳代	5			
消費税	消費税	5			
人件費	事務局員給与	3			
借料及び損料	会場借料	3			
その他	消耗品費等	2			
計		105	計		0
B.(株)グローバルラボ			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	コネクタソツール開発(オンライン接続検証ツール等)	65			
計		65	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人日本IHE協会	事務局業務及び報告書作成	105		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)グローバルラボ	コネクタソンツール開発(オンライン接続検証ツール等)	65		
2	SBS情報システム(株)	コネクタソンツール開発(PDIチェック機能開発)	8		
3	(株)管理工学研究所	コネクタソンツール開発(RFPチェック機構の拡張)	5		